

犬や猫を飼うときの約束

最後まで責任をもって飼いましょう。

- 家族の同意が必要です**
 - 家族全員がしつけや世話に協力してくれますか?
 - アレルギーの人はいませんか?
 - 結婚・出産しても飼えますか?
- 一緒に住める住居が必要です**
 - 犬や猫を飼える家ですか?
 - 引っ越して手放すことになりませんか?
- 覚悟が必要です**
 - 時間と労力が必要です。
 - お金がかかります。
 - 近所とのトラブルがあるかもしれません。



捨てられたペットが希少な在来種を襲うことも。

迷子札など『飼い主の氏名』と『連絡先』がわかるものをつけましょう。

鑑札・注射済票の装着は、狂犬病予防法で定められた飼い主の義務です！災害時に逃げてしまった時にも役立ちます。



室内飼いでもしっかりつけてワン

迷子になるのはこんなとき

- カミナリや花火の音に驚いて逃げる
- 首輪や鎖、リードの留め具などが壊れて逃げる
- 発情期に異性を追いかけて逃げる
- 部屋の窓が開いていて外に出る
- 強い猫にいじめられて帰れなくなる
- 発情期に異性を探して帰れなくなる

室内飼いで不妊去勢手術をしましょう。

- 増やさないために**

犬や猫は、生後半年くらいで繁殖できるようになり、一度にだいたい4頭以上の赤ちゃんを1年に2回以上産むことができます。猫は、1年で1頭が20頭以上になることも!
- ペットのために**
 - 生殖器の病気になるリスクが減ります。
 - 欲求不満によるストレスが軽くなります。
 - いろいろなリスクが減ることで寿命が延びます。
- 問題行動を減らすために**
 - 発情期特有の困った行動(大きな鳴き声・ケンカ)がなくなります。
 - オスの攻撃性が減り、しつけがしやすくなります。



犬を飼うときのルール

- ① 放し飼いはしない**
 - 咬みつき事故や飛び出し事故の心配
 - 散歩のときもリードは外さない
 - 犬を制御できる人がしっかり持つ
- ② 市町村に登録し、狂犬病の予防注射を受けましょう。**
 - 犬を飼うときは市町村への登録手続きが必要です。
 - 年1回の狂犬病予防注射は飼い主の義務です。
- ③ きちんと健康管理**
 - フィラリア予防
 - 病気になるためのワクチン注射
 - ノミダニ対策などが必要です。
- ④ 近所の人にも気を配る**
 - 鳴き声や臭いなどで迷惑にならないようにしましょう。
- ⑤ 適正なしつけをする**
 - 「待て」ができるようにしましょう。
 - 災害時に避難する際も周囲の迷惑にならないと助かります。



一緒に過ごす時間が大切です。できるだけ室内で飼ってね。

猫を飼うときのルール

- ① 完全室内飼育をしましょう**
 - 外へ出かけている間、ご近所で庭を荒らしたり、排泄したり、ゴミをあさるなど、他人の迷惑になっているかも。
 - 危険な目に遭っているかも。
- ② きちんと健康管理**
 - 病気になるためのワクチン注射
 - ノミダニ対策などが必要です。



外で猫にエサをあげている方へ

- 不妊去勢手術をしましょう。
- 決まった猫にだけ、決まった時間にだけあげましょう。
- 置きエサ禁止。食べ終わったら片付けて清掃しましょう。
- フンの掃除もしましょう。
- 近所の人たちの理解が必要です。

エサが置きっぱなしだと他の猫が来ちゃうよ